

第33回関東甲信越性教育研究大会群馬大会

生・性・^{せい}声 思春期に寄り添う

—その生きづらさの背景と支援のヒントを探る—

生きづらさ

寄り添う
支援

多様性

現場の声



基調講演 : 筑波大学人文社会系教授
シンポジウム : 埼玉医科大学産婦人科助教
群馬県立高校養護教諭
一般社団法人ハレルワ代表理事
利根中央病院精神神経科部長

土井隆義氏
高橋幸子氏 (座長)
小原直美氏
間々田久渚氏
藤平和吉氏



基調講演

若者たちの生きづらさ、
孤独や不安、
その心の機序と社会背景について
考えます。



教材紹介

群馬県のお弁当を食べながら
包括的性教育に特化した
学習教材を紹介します。



シンポジウム

教育・医療・地域・心理の現場で、
若者たちの生きづらさに寄り添って
活動してきたシンポジストとともに
支援の可能性と課題について考えます。

詳細・申込

2025.11.16 日 10:00-16:00



参加費 3000円 (学生:1000円) お弁当代を含む

群馬県立県民健康科学大学 大講義室
371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1

登壇者・プログラム詳細は
こちらからご覧ください

主催:関東甲信越性教育研究団体連絡協議会 ぐんま思春期研究会